



掛川西高校

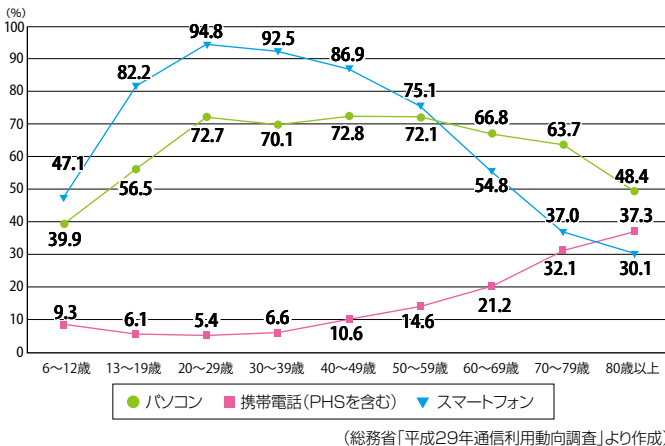
スマホ教室でデジタル革命



今月は掛川西高校文芸部の生徒4人が、「ICT（情報通信技術）環境が充実したまちづくり」を提案してくれました。

さまざまな年代が交流しながらICTへの親しみを深めることで、ICTに強く、市民みんなが自分の地域の魅力を発信できるまちを目指します。

☎観光・シティプロモーション課 (☎21-1121)



デジタル化の波

これからの掛川の新しい強みとして挙げられることは、ICT（情報通信技術）だと私たちは考えています。

現在、掛川は高齢の方の割合が高い状態にあります。しかしグラフの通り、スマートフォン（以下「スマホ」）やそのほかのデジタル機器の普及率は高齢の方で低くなっています。

今の社会はたくさんの方の情報にアクセスできます。スマホなどのデジタル機器が使えると、災害時などの非常

事態でも周囲の情報をいち早く手に入られるほか、家族や友達とより手軽に連絡を取ることもできます。しかし、使いこなす自信がない方も多いかもしれません。そういった不安が理由で、スマホの普及率が低くなってしまっているのではないのでしょうか。

スマホ教室の提案

そこで私たちが考えたことが、スマホ教室の開催です。使い方を教わる機会があれば、挑戦しようと思えるのではないのでしょうか。さらに、スマホ教室を

高校で行い、高校生が講師として参加すれば、世代間の交流も増えるはず。



授業をしながら掛川巡り

近年、きれいな写真をネット上にアップロードすることが、若者の間で流行しています。そこで、スマホ教室の授業の中でやり方を学び、市内を巡り観光スポットや自然の景色などをきれいに撮ってみたらどうでしょうか。これまで気付けなかった掛川の良いところをネット上でも発

信できるようになり、魅力はこれまでにない速さで広まることになると思います。これにより高齢者の方々のスマホ普及率が上がるだけでなく、掛川の魅力も拡散できるでしょう。



この記事は私たちが作りました！

左から
樽松真凜さん
稲毛優希さん
松下沙矢さん
雪山優衣さん



市ホームページ
高校生が描く掛川